

市議会だより No.30

平成25年8月15日



新田地区



野島地区



勝間地区



小野地区



6月定例議会

議案の概要	P2
焦点 職員給与減額	P3
特別委員会の報告	P3
一般質問	P4~P9

議会報告会のまとめ	P10
議会日誌	P11
9月定例議会の予定	P11
アンケートの集計結果	P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!!

平成25年 6月 定例議会

6月定例議会は、6月7日から28日までの会期22日間の日程で開催されました。平成25年度一般会計補正予算、サイクリングターミナル設置及び管理条例の改正、市職員給与の減額に関する条例の制定など、議案14件、推薦1件、選任1件、承認2件、報告16件、決議1件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

なお、最終ページに「ほうふ市議会だより」に関するアンケートの集計結果を載せています。

条例

■サイクリングターミナル設置及び管理条例の一部改正

サイクリングターミナルの管理について新たに指定管理者制度を導入するため、管理条例の基準について改正しました。



サイクリングターミナル

■市職員給与の減額に関する条例

国の給与減額に準じて本市職員の給与を平成25年7月1日から平成26年3月31日まで6・3%減額する条例は否決しました。本会議での賛否の討論は、3頁上段の焦点を参照下さい。（賛否No3）

人事・一般議案

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 門田美和子（大字上右田）
新任 中谷加代子（大字伊佐江）
新任 上田和義（八王子一丁目）

■「潮彩市場防府」を指定管理

水産総合交流施設「潮彩市場防府」については平成25年7月から平成28年3月までの2年9カ月、「潮彩市場ほうふ振興事業協同組合」を指定管理者とすることになりました。

■市道路線の認定及び変更

東塩屋線ほか12路線の認定、経過地の編入、終点変更による勝間鐘紡自歩道線ほか3路線の変更をしました。



勝間鐘紡自歩道線

予算

■平成25年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ10億9、273万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ376億6、932万7千円としました。

内容としては、山頭火ふるさと館整備予定地等の鑑定費用、介護施設開設準備のための経費補助金、新橋牟礼線（牟礼柳く酢貝）道路整備の測量設計委託料、市指定文化財阿弥陀寺仁王門の修理工事費補助金等です。

山頭火ふるさと館整備予定地等の鑑定費用を削除する修正案が出されましたが、否決し（賛否No1）、原案を可決しました。（賛否No2）

報告

■市出資法人の経営状況報告

9つの出資法人（土地開発公社、スポー

決議

■松浦市長の議会基本条例への認識を改め、反省を求める決議

6月19日の予算委員会全体会で、休憩中ではありましたが、松浦市長は、一勝手に議会の基本条例をつくって、反問権も認めない。反問権を、どこの議会も持っている。」といった主旨の発言をされました。

決議案は、議会基本条例は、市長が制定された自治基本条例に基づき、ハブリックコメント、市執行部との協議を経て制定されており、議会が勝手につくったものでないことを指摘し、さらに、県内の市議会では、下関、山陽小野田市議会が防府市議会とほぼ同じ反問権の条文を持つていているだけであり、市長に誤った認識を改められ、反省することを求めるものです。

この決議案に対して、市長には誤認があり反省しなければならないが、決議という形には反対との意見がありました。賛成多数で可決しました。（賛否No5）

焦点 職員給与の削減

削減案は否決。賛否の討論を紹介しします。

■削減に賛成

和田敏明（和の会） 国は東日本大震災の復興財源確保のため、国家公務員の給与を削減。職員は公僕とはいえ、更なる給与削減は生活設計に影響し、苦しい決断だ。国は地方交付税削減の方針であり、市民サービス低下が危惧される。豪雨災害では全国から励まされた。職員給与を削減され財源確保する英断に賛成する。

■削減に反対

今津誠一（和の会） ①景気を良くして賃金の上昇消費の拡大でデフレを解消するというアベノミクスに反する。②国家公務員の給料削減は、成長戦略のない民主党政権下での決定で、今回これに従う必要はない。③防府市は既に職員定数や給与の削減を実施してきた。④市経済に与える影響は甚大である。市内景気は落ち込む。⑤全国市長会はこれに反対し、秋、美祿、岩国市等は削減しない。⑥削減相当分2億円は市内共通商品券購入を職員にお願いし、景気浮揚を図るべきである。

山本久江（日本共産党） 全国地方6団体が共同声明で、地方公務員の給与削減の強制は、地方自治の根幹にかかわる問題と抗議。地方公務員給与は地方公務員法により、条例で決まる。県内4市2町は削減しない方針で、職員削減、給与減額の既の実施を理由としている。防府市も職員を削減し、人口1万人当りの一般行政職員数は県内13市で最少。厳しい経済状況で、大幅な給与削減は民間に影響し、地域経済もマイナス。**田中健次（市民クラブ）** 国が自主財源の地方交付税を使い職員給与を下げさせるのは地方自治の根幹をゆるがす問題。地方公務員給与は自治体で決めるもの。地域経済への影響もある。

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No.	平成25年6月定例会	党派・議員名																	賛否の合計		議決結果							
		和の会				絆				明政会			公明党		龍会		日本共産党		市民クラブ			無所属の会						
		今津	清水	田中敏	小林	平田	藤村	和田	安藤	河杉	重川	三原	山田	上田	松村	行重	吉村	高砂	山下	山根		橋本	安村	木村	山本	田中健	久保	賛成
1	平成25年度一般会計補正予算（山頭火ふるさと館整備予定地鑑定経費を削除する修正案）	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	-	×	×	×	×	×	○	○	○	×	10	13	否決
2	（原案）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	14	10	可決
3	市職員給与の減額に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	9	15	否決
4	平成25年度防府市一般会計補正予算（市職員給与減額に伴う経費追加案）	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	9	15	否決
5	防府市長松浦正人君に防府市議会基本条例に対する誤った認識を改められ、反省を求める決議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	14	10	可決

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない11議案は、全会一致で可決しました。
※行重議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

総合交通体系調査特別委員会の報告

（4月16日・5月28日開催）

4月16日に開催された本委員会では、平成24年度防府市生活交通利用促進月間報告、防府市における生活交通網再編成に関する研究及び生活交通に関するアンケート調査結果について、執行部から説明を受けました。

5月28日に開催された本委員会では、港湾整備、幹線道路の整備、生活道路の整備及び都市計画道路の見直しについて、執行部から現状の説明を受けました。

「今年度は、交通体系の中で、生活交通を最も重視しなければならぬ。タフシー運行事業者、路線バス運行事業者、地区住民と意見交換し、新たな生活交通体系を提言していつてはどうか。」との意見等がありました。

今後は、生活交通システム、JR駅のバリアフリー化等について執行部の説明を受けることとなります。

提案を受け、まずは全ての交通体系の現状について関係部局から説明を受けることとなりました。



野島航路船着場

Q&A

一般質問



6月定例議会では、17名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を9月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

防府市が考える

港の活性化戦略！

山田 耕治(絆)

問 野島の船着場も含めたインフラ整備は？

市長 改正された三田尻中関港港湾計画の中にも野島航路の移設が盛り込まれている。まずは、利用者のコンセンサスを得て、ハード面の整備に着手することになる。

問 港イベント等の計画の活性化戦略は？

市長 潮彩市場防府で、定例のイベントが行われている。新たな企画も立てていきたい。

問 県は、県内統一の「まぐちブランド」の登録制度を始めているが、防府の水産物等のブランドPR対応は？

産業振興部長 天神鱧のブランド事業を推進しているが、新たな開発も含め検討したい。

問 公募等で、市民提案型の港活性化事業も取り組むべきでは？

土木都市建設部長 県へ提案したい。



県が管理している公園

問 潮彩市場周辺のライトアップや防犯灯の整備予定は？

土木都市建設部長 県へ提案したい。

問 潮彩市場周辺の県有地は、雑草が繁茂し管理されていないが？

土木都市建設部長 県へ対策を要望している。

問 市民が楽しめる憩いの場として、まとまった桜や梅の植樹計画は？

市長 平成21年度から平成26年度にかけて、記念植樹を計画している。

問 企業や団体からまとまった植樹寄付の要望があった場合の対応は？

土木都市建設部長 場所も含め検討したい。

◆その他の質問項目
学校教育について

農業の振興について

橋本 龍太郎(政龍会)

問 新政権となり国、県のスピードは確実にアップする。この動向を注視し取り残されないようしっかりと対応して欲しい。農業振興について、防

府まちづくりプラン2020の特定農業法人数の目標を5団体からもつと増やすべきでは。

市長 現在3団体、残り2団体が協議中である。増やすには圃場整備が条件で大道以外の地域とも協議を進めたい。

問 TPP参加による本市への影響とその対策について

市長 試算していないが国や県の動向を注視し魅力ある農業振興に努めたい。

問 農業振興のための長期計画は？

市長 市農業振興地域整備計画を策定し、振興を推進する地域指定や担い手育成、安定的な就業の促進などに取り組んでいる。平成25、26年度に計

画の見直しを予定しており、アンケートなどで生の声を聞き、見直しに活かしたい。

問 地産地消の取り組みについて

市長 富海など3小学校をモデルに給食の食材として9農産品を利用して成果があり、全小学校に拡大を図っている。

問 オランダ農業のようにハイテク技術を導入した農業振興を。

産業振興部長 オランダでは国の施策として取り組んでおり、国の施策を注視し研究していきたい。

問 道の駅設置の考えは。

産業振興部長 すてにJAなどの民間施設があり、現時点では計画はないが、民間の動きを注視していきたい。



用途不明土地等の今後について

安藤 二郎(絆)

問 駅北公有地について今後の活用計画は？

市長 旧商工会議所会館等用地から、旧八王子アパート用地まで面積合計7,200㎡があり、この活用計画については、平成24年6月に設置された庁内検討会議で、早急に市としての方針を決定し、議会との協議、市民の皆さんからのご意見をいただき検討していく。

問 JT跡地はどうか？

市長 JTによると6月下旬から7月に役員会を開き取り扱いを決めたとい、とのこと。14万㎡もの広大な用地であり、本市にとっては、大きな雇用力を持つ企業が立地するといことが最も重要と考えている。具体的には、マツダ、ブリヂストン、協和発酵バイオ東海カーボンの各取引企業465社と食品等の内需関連企業600社、また企業情報調査で山口県

への進出を希望されている20社へ用地情報の提供を行うこととしている。また、JT所有の産業廃棄物最終処分場跡地として9万㎡の土地がある。JTではこれまでに3回の自主調査を実施、山口環境保健所からは、是正の命令等は出されたことはなく、土地の形質変更時、保健所からの特段の指導がなければ、利用制限はないということになる。

要望 近辺にはないサッカー競技場とする案はどうか。多くの流入人口が期待できる。



JT産廃最終処分場跡地

防府市経済再生戦略について

今津 誠一(和の会)

公募 防府市経済再生プランの

問 市民の知恵を活かし、課題を共有する為にプランを公募しては。

市長 有効な手段だが、まずは庁内で検討したい。中小企業の育成支援

問 経営者の人材育成は極めて重要。具体的支援策を検討すべきでは。

産業振興部長 商工会議所等の支援機関と連携して努めたい。

問 山口大学との連携協定

問 大学の「一知」と自治体が連携することは両者にとってメリットがある。山大的研究成果活用のため、協定を締結しては。

総務部長 現在、個別協定を締結しているが、柔軟に対応したい。

問 起業家の育成支援策

問 内発的発展を促す為、起業家志望者に研修や情報収集の「場」を提供し、起業熱を高めては。

産業振興部長 起業家志望者の意向も調査し、検討したい。

問 植物工場の建設による農の振興と雇用創出

問 植物工場での野菜生産は安定収入が見込め、多くの雇用が生み出せる。企業の農業参入を促しては。

産業振興部長 植物工場のシステム等を調査研究し、企業等へ紹介したい。

雇用創出プランの早期策定

問 昨年6月頃に策定予定だったが、早期策定を。

産業振興部長 県と共に策定した雇用開発計画を基に200名の雇用創出に努めたい。

◆その他の質問項目

観光振興



災害時の低地排水、中心市街地活性化、体罰のない教育について

吉村 弘之(明政会)

問 海岸部などの浸水被害の防止や早期の復旧のため、「移動式ポンプ場」の機能を有する大型の排水ポンプ車の導入が必要と考えるが、その予定は。

産業振興部長 排水ポンプ車は、浸水災害の応急的な排水を行うには有効な手段であり、各関係機関においても導入がなされている。今後、当市においても導入に向け調査研究を進めていきたい。

問 「体罰」に関するアンケート調査」結果の公表は。

問 「懲戒」のルール化と公表はされているか。

問 今後は、体罰の防止に向けてどのように取り組んでいくのか。

教育長 ①県全体での公表はあるが、市町単位の公表はされていない。

②県において、懲戒処分の基準が示されており、公表されている。

③教職員には研修会を行い、地域や保護者の皆様には学校運営協議会を通じて啓発に努めていく。

問 幸せますウィークの実施結果と今後の課題は。

市長 第3回幸せますウィークの主なイベント「G級グルメin防府」は1万5千人の来場があった。特に、天満宮の巨石



胃がん予防について 胃がんリスク(ピロリ菌)検診の導入について

山下 和明(公明党)

問 厚生労働省は本年2月21日、胃がんの大きな原因とされるピロリ菌の感染による慢性胃炎について、除菌治療を保険診療の対象にすることを承認した。最近の研究では、ピロリ菌の感染によつて胃の萎縮が進むと、一部が胃がんに進展、胃がんのほとんどがピロリ菌によることがわかつてい

て、一層の啓発に努めたい。胃がんリスク検診については、国や県の動向を注視しながら、この検診にどのような形で着手できるか、前向きに検討したい。

る。胃がんはピロリ菌感染と深く関わりがあり、予防できるがんであることから、ピロリ菌感染を調べる血液検診を導入している自治体も増えている。本市でもピロリ菌による胃がんリスクを判定する検診事業を導入できないか。

要望 本市の胃がん検診受診率は非常に低く、がんの死因の中で2位である。ピロリ菌検診は血液検査で行うことができるので、人間ドック健診に入れ込んでほしい。ピロリ菌を除菌できれば胃がんの治療にかかる医療費を軽減することにもなる。胃がんになつてからの手当ではなく、胃がんになる前の予防の検査であるので早い時期の導入を期待する。

健康福祉部長 胃がんの原因として、ピロリ菌以外にも食生活や食習慣が関係し、過度のストレスが要因といわれることから、年1回定期的にかん検診を受けることについて

高齢者の今後の推移による介護保険について

上田 和夫(明政会)

問 認知症の方に対する支援として、認知症サポートカーキヤラバン事業があるが、キヤラバンメイト養成講座の受講状況と認知症サポートー養成講座の開催状況、今後の支援に対する取り組みは、

が、現在どのような事業を実施しているのか。また、今後の取り組みは。

市長 7年間に59人が受講し、キヤラバンメイト41回開催し、1,328人がサポートーになつている。認知症の正しい知識の普及や啓発と併せ、地域で認知症高齢者の生活を支えるためには、相談体制や介護サービスの向上が大変重要と認識している。

市長 一次予防事業は、介護予防の知識の啓発及び日常生活に実践的な介護予防教室を開催している。二次予防事業は、対象者把握のため「基本チェックリスト」を配布し、介護予防マネージメントを実施している。地域の各団体等が自主的な介護予防活動が行えるような地域づくりに取り組みたい。

問 介護給付費の抑制が重要となっている。対策として介護予防がある

健康福祉部長 認知症の方が3,578人、キヤラバンメイトは10人、サポートーは48人である。

問 本市の職員全員をサポートーには、

健康福祉部長 市職員全員がサポートーになるように努力する。



小学校と公民館の一体化を 空き家条例について

久保 潤爾(無所属の会)

問 地域での教育力を高め、施設機能を強化するため、小学校と公民館を一体化する考えはないか。

財産に関することに加え、相続、所有権、登記の問題等が複合している。

市長 学校の地域連携機能強化への取り組みをさらに進める有効な提案であると考え。今後、公共施設のあり方を検討する中で一つの重要な視点として前向きに検討していきたい。

問 通報者に対して状況報告はされているか。

問 施設の所管である教育委員会の考えはどうか。

問 条例に行政代執行条項を加える考えはないか。

教育部長 地域ぐるみの教育の推進を図ることのできる両施設の一体化については公共施設マネージメント事業の中で一定の方向づけを行いたい。

土木都市建設部長 行政代執行を条項に加えることの有効性と、諸制度について調査研究し、見直し条項にあわせて法的整備を図っていきたい。

問 空き家条例制定後の通報件数と処理状況は。

土木都市建設部長 条例制定後は70件の通報があり、措置完了したものが5件である。

問 処理がなかなか進まない要因は。

土木都市建設部長 私有



西浦公民館

マイナンバー法について

山根 祐二（公明党）

問 マイナンバー法が成立し実施されるが本市において実際に運用となる時期と行程は。

市長 運用時期の予定は平成27年10月に、すべての国民に個人番号が通知され、平成28年1月から個人番号の利用が開始されることになっている。これから、国で制度の詳細な内容が検討されるが、本市での導入にあたり、組織体制や業務の見直し、条例の制定や改正が必要になる。また、コンピュータシステムの改修も必要になる。

問 国は個人情報の漏えいや悪用を防ぐため、第三者委員会を設置して監視するとしている。市民への制度の説明と市民の個人情報保護に留意されたい。個人情報漏えい防止についての考えは。

総務部長 国から示されている内容は現時点で定かではない。行政専用回

線を使うのでセキュリティ上、問題はないと考えている。市としては現在のシステムは堅持したい。

問 現在防府市で運用している電子システムにおいてどのような対策を講じているか。

総務部長 防府市では基本的に外部に接続できず、庁内で完結している。現時点ではセキュリティは守られている。

意見 直接にシステムを扱つのは地方自治体などで、市民の個人情報流出などがなく、事前の準備と厳重な管理をお願いする。

その他の質問項目
◆空き家対策について
◆自転車利用環境整備について



公共施設、インフラの老朽化対策について 避難行動要配慮者の把握について

高砂 朋子（公明党）

問 昨年6月に老朽化への対応が迫られている公共施設の更新問題を取り上げ、現状と課題を明確にするために「公共施設白書」の作成を提案。今年度作成される「公共施設白書」の概要は。この対策は期間も必要であり、全庁挙げての取り組みが重要。統括担当部署を新たに設置すべきであり、管理情報を一体化し、電子化すべきでは。

市長 この白書は、インフラ施設を含む全ての公共施設の築年別整備状況、サービス実態等を整理し、今後40年間の大規模修繕や建て替え等の更新費用を算出、更に分析・評価を行うこととしており、今後の公共施設の再編整備を検討する際の有効な資料となる。今後、統括的な管理部署の設置と管理情報の電子化を一体的に行う必要があり、次期行政経営改革の重要

課題として検討してまいりたい。



建て替えの対象となっている市役所庁舎

問 災害時の要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する人）を守るために期待されている災害対策基本法改正だが、避難行動要配慮者の把握についての取り組みは。

健康福祉部長 高齢者については、保健福祉実態調査を実施しており、昨年度からご本人同意のもと災害時安否確認票を提出していただいている。障害者については今年度から調査を実施。

その他の質問項目
◆児童生徒の人権教育

水路の利活用及び 天神商店街のまちづくりについて

中林 堅造（和の会）

問 防府総合用水の円筒式分水工の今後の活かし方についてどうか。

土木都市建設部長 昭和34年、防府土地改良区により建造された分水槽は直径が30mあり、「日本一の規模を誇っている。50年以上経過しており、国の登録有形文化財に申請し、用水や景観の重要性を市民に知らせると共に市のPRにつなげたい。

問 小水力発電の可能性と併せて学校教育に活用できないか。

土木都市建設部長 「佐波川かわまちづくり」の事業が、今年度よりスタート。整備区域に取り込み、分水槽の上流付近に水車を設置。水力発電の仕組みと併せて日本一の施設があることを子どもたちの心に残せればと思う。

問 稲刈り後の水路の水量を増やせないか。
土木都市建設部長 防府

土地改良区と国交省との取り決めで11・4月は毎秒約2tの取水制限の取り決めがある。河川工事の関係もあり現行で維持したい。

問 天神商店街の空き店舗の状況はどうか。

市長 現在6店舗。退店後半年から5年経過、1店舗は老朽化で使用不可。1月現在、33店舗が営業しており、振興組合への加入率は、16店舗で48%。半数以上は民家や駐車場で商店街の空洞化が目立っている。「防府まちづくりフロンティア」達成のため新規出店の目標数値を、天神商店街を含め、平成32年度までに延べ30店と掲げた。



肺炎球菌ワクチン接種に助成を 中学校卒業までの医療費を無料に

山本 久江(日本共産党)

問 日本人の死亡原因の第3位となっている「肺炎」は、約2分の1が肺炎球菌によって引き起こされている。防府市では、ここ10年間で、肺炎による死亡者が1.5倍に増え、平成23年度の死亡者割合は、約13%と全国・県平均を上回る状況だ。高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用への助成制度を創設してはどうか。

市長 「成人用肺炎球菌ワクチン」の有効性を広く市民へ周知し、接種費用の助成は、前向きに検討したい。喫緊の課題であると感じている。

問 医療費の心配をせずに安心して病院にかかれるようにというのは、子育て世代の切実な願いである。全国の自治体で、入院では中学校卒業までの無料化が過半数にのぼり、通院も4割近い自治体で実施されている。年少人口の減少が進む防府

市の子育て支援策として、中学校卒業までの医療費を無料にできないか。

市長 今後の子どもの医療費助成制度の拡充については、積極的に取り組んでいきたいと思っているが、現在の事業を検証し、財政的な面も含めて検討したい。

問 病児・病後児保育の利用者が年々増加している。次世代育成行動計画にも増設の計画が示されているが、今後の需要を踏まえ、さらに1力所増やす考えはないか。

市長 引き続き、利用状況等を注視するとともに、保育施設を増設する場合には、医師会等と連携を図りながら対応したい。



学校現場での問題点について

清水 浩司(和の会)

問 小学校管理職の同時交替

問 小学校管理職の同時交替は運営上問題があると思うが。

教育長 管理職の人事は、県教育委員会が所管しているが、学校運営に影響が大きいので管理職の同時交替はできるだけ避けようとしている。

問 小規模校の問題点

教育長 大規模校と比べ切磋琢磨の機会は減るが、きめ細かな指導ができる。全ての学校が一定の水準を備え、信頼される学校となる様に支援したい。

問 各教科の専門教師が配置されているか。

教育長 教科数より少ない教員定数の中学校においては免許を有する教員が配置されないことがあり、教職員の適正配置については県教育委員会に要望してまいりたい。

武道の選択制

問 授業の実情はどうか。

教育長 10校が柔道を選択、2学期に10時間程度の授業を行っている。安全に対応できるように緊急マニュアルを作成している。

問 年間を通じた指導は出来ているか。

教育長 一定期間まとめて学習したほうが効果は高いと考えている。

問 外部指導員の派遣は。

教育長 市内では1校が招聘している。本年度は5校が活用を前向きに検討している。

問 スポーツ指導者の資格制度について

教育長 スポーツ指導者の内、有資格者は285名中145名、資質向上の啓発に努めている。



駅北の空き地を起爆剤に！ 野島シーサイドスクール今後も継続！

松村 学(明政会)

問 駅北さくらいカメラ

付近は区画整理後、3年間も空き地で駅前顔にふさわしくない。市が調整し、駅北の核・起爆剤になるものを誘導すべきでないか。



駅北空地

市長 各地権者の相談窓口として相互調整などの支援をする。

問 公会堂駐車場の出口は細い通路側にあり、行事終了時に車が大渋滞となり、地域住民も困っている。対策を。公会堂の建物は奥にあり、何の催し物をやっているか分からないので、通行人に分かるよう車道に面する敷地に案内看板を設置できないか。

教育部長 周辺住民に啓発する看板の設置や興業者への指導を行い、渋滞緩和に努める。また、公会堂の利用増になるよ

う、案内看板の設置を検討する。

要望 以前、大道の業者が農地に会社事務所や作業所を設置し、都市計画法違反をしていたが、市が取り締まらず、時効になった。公平な対応をお願いする。

問 野島小・中学校と茜島シーサイドスクール事業の存続について市議会から全会一致で決議されたが、今後の見通しについてどう検討されているのか。

教育長 平成27年度以降も存続で検討し、事業の教育的効果などを保護者や生徒にPRする。

要望 野島海運の運賃の減額、小学校へ野島の自然体験学習の義務化を要望する。



野島小・中学校

滞納家賃の大半が徴収できていない 市営住宅 提訴105件の総額は9,860万円

三原 昭治(絆)

問 市営住宅家賃滞納者の提訴までの手続きは。

土木都市建設部長 2カ月以上の滞納者に催告書送付や連帯保証人へ完納指導のお願い、6カ月以上または20万円以上の滞納者には法的措置を取る。

問 連帯保証人に対する対応は。

土木都市建設部長 文書で協力を求めている。現時点で、訴訟に至っていない滞納者、額は7世帯、約4,480万円。

土木都市建設部長 平成11年度から実施し、105件で滞納額は約9,860万円。和解43件、訴訟判決62件。

問 対応をどうするのか。

土木都市建設部長 本人と共に、保証人に対しても支払いを強く求めている。くよう検討したい。

問 訴訟費用は。

土木都市建設部長 1件約25万円、約2,500万円。市が負担している。

問 家賃をきちんと納められている正直者が馬鹿を見るような現況に対して、毅然とした対応を。

市長 真面目に支払っている方に申し訳なく思う。今後は、連帯保証人へも文書送付だけでなく、電話や出向いて対応するなど、きちんとした手順を取っていききたい。

問 家財を放置して出る者もいるようだが。

土木都市建設部長 市が1件当たり5万円を負担して処理している。

問 訴訟判決者や和解で、滞納家賃は徴収できているのか。

土木都市建設部長 ほとんども徴収できていない。

土木都市建設部長 ほとんども徴収できていない。



情報公開条例の見直し、教育費の負担軽減、通学路の安全対策を

田中 健次(市民クラブ)

問 情報公開条例の合議制機関の情報非公開の規定は、非公開の拡大につながる、この規定を削除すべきではないか。

市長 審議会等、構成員の自由な意見交換や微妙な討議が困難になる場合は非公開とすることを定めたもので、安易に非公開としないよう厳格に運用してきた。

意見 県内13市中7市がこの規定を削除しており、早急に見直すべきだ。

問 通学路の歩道整備、ハンブ(スピードを抑えるための道路のこぶ)の設置、面的な道路対策はどうなっているか。

土木都市建設部長 通学路のカラー舗装は、各小中学校から500mの範囲内は平成26年度完了予定。500m以上は、今後検討する。ハンブは、まだ設置していないが、新たな試みとして突起しているように見えるイメージハンブを設置し、速度の抑制に努める。面的な道路対策は、宮市町等の一部に「ゾーン30」が指定されており、事故の減少を期待している。

問 市教育振興計画の素案が示されたが、国の第2期計画に示されている格差問題に対するセーフティネット構築という視点が弱く、学習機会の均等、教育費負担軽減の取り組みが不十分だ。

教育長 経済的支援や教育支援は、今後の方向性として重要であり、記述の工夫や基本施策の項目の1つとして検討したい。

問 防府読売マラソン大会を隆盛させるために、工夫してきた事は何か。

市長 毎回大会後、主催団体で検討を行い、制限時間の延長、女子の部創設、コースの変更等、数々の改善や工夫を重ねてきております。

問 その参加者と遠来の応援者の来防を絶好の機会として捕え、前日受付、登録制度も取り入れ、市内巡り、宿泊等につなげ、経済効果に波及させる工夫も必要と思うがいかが。

教育部長 今の段階では従前方法を踏襲したい。

問 現在非常に中心市街地が疲弊している。どのように思っているか。

産業振興部長 空店舗、空地等の状況は認識している。今後も危機感を持ち、補助や助成制度も含め、あらゆる方策で活性化に向け鋭意努力したい。

要望 その補助、助成制度が、利用者側からすれば非常に使いづらい、改善は出来ないか。

問 教育のまち、防府の道徳教育はどのようになされているか。

教育長 豊かな人間性を備えた心の教育を推進している。

要望 充分でない点もある。なので更なる推進を望む。



黒ぬりの審議会会議録

読売マラソン大会・地域活性化・道徳教育

重川 恭年(絆)

問 防府読売マラソン大会を隆盛させるために、工夫してきた事は何か。

市長 毎回大会後、主催団体で検討を行い、制限時間の延長、女子の部創設、コースの変更等、数々の改善や工夫を重ねてきております。

問 現在非常に中心市街地が疲弊している。どのように思っているか。

産業振興部長 空店舗、空地等の状況は認識している。今後も危機感を持ち、補助や助成制度も含め、あらゆる方策で活性化に向け鋭意努力したい。

要望 その補助、助成制度が、利用者側からすれば非常に使いづらい、改善は出来ないか。

問 教育のまち、防府の道徳教育はどのようになされているか。

教育長 豊かな人間性を備えた心の教育を推進している。

要望 充分でない点もある。なので更なる推進を望む。



読売マラソン

議会報告会

市民に開かれた議会へ

5月9日～17日に市内15地区で、議員が4班に分かれて議会報告会を開催しました。各地区で出された質問、意見、要望等の一部を要約して紹介します。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。

なお、行政への意見・要望等については、次号の議会だよりに掲載の予定です。

質問・意見・要望等	議会の回答
<p>報告会に初めて参加したが、さっぱりわからないのが本音だ。報告会とはどういったものか。</p> 	<p>今回で3回目ですが、1年間、議会でどういったことが議論されているのか、どういった意見があったか、内容について地域の方々に説明をするために開催しているものです。あわせて地域の皆様のご意見を聞いて、今後の議会活動に反映していくことを目的にしています。出席者にわかりやすいように、説明の仕方や資料について、今後工夫してまいります。</p>
<p>インターネット中継はどのくらいの人が見ているか。</p>	<p>インターネット中継は、平成24年度にはライブ中継4,348件、録画中継3,530件、合計7,878件のアクセスがありました。まだまだ宣伝が必要と感じています。議会を傍聴し、議場の雰囲気を感じながら見ていただければと思います。</p>
<p>インターネット中継は、どこで、どうすれば見られるのか。</p>	<p>インターネットが見られる環境であれば、自宅等で見られますし、各公民館でも見られます。録画中継は、図書館でも見られます。</p>  <p style="text-align: center;">公民館のパソコンで</p>
<p>議会だよりで、修正案に賛成反対などについての内容がわかりにくい。口で言うような内容にしてほしい。</p>	<p>わかりやすい表現に改めてまいります。</p>
<p>議会の皆さんと自治会長との意見交換会をやってほしいがどうか。</p>	<p>議会定例会ごとに、議会概要報告会として、議長ほか代表の議員と市自治会連合会との意見交換の場を設けています。議員との意見交換会をご希望であれば、議会懇談会※という制度を利用できます。</p>
<p>もっと議会の情報公開度を上げる努力をしてほしい。</p>	<p>新たに議会交際費、政務調査(活動)費について、議会ホームページで公表するようにしましたが、さらに情報公開に取り組んでいきます。</p>
<p>市議会議員に退職金はないのか。また、それに代わるものはないか。</p>	<p>市議会議員には退職金はありません。また、それに代わるものもありません。</p>

※議会懇談会は、市民団体や概ね10人以上の市民グループの申込みにより、市政や市議会に関することについて、議会と懇談をするものです。議会懇談会の申込みは議会事務局へ。(0835-25-2182)

議会日誌

5月

- 1日 中小企業振興基本条例検討協議会
- 9日 議会報告会（富海・佐波・野島）
- 10日 議会報告会（牟礼・松崎）
- 13日 議会報告会（華浦・向島）
- 14日 議会報告会（新田・中関）
- 15日 議会報告会（勝間・右田）
- 16日 議会報告会（華城・小野）
議会改革の視察受け入れ（島根県浜田市）
- 17日 議会報告会（西浦・大道）
議会改革の視察受け入れ（兵庫県高砂市）
- 28日 総合交通体系調査特別委員会
- 29日 全員協議会
- 30日 中小企業振興基本条例検討協議会
山頭火ふるさと館検討協議会

- 27日 中小企業振興基本条例検討協議会
- 28日 6月定例会閉会
広報編集委員会

7月

- 2日 議会改革の視察受け入れ（福岡県朝倉市）
- 12日 議会改革推進協議会
- 16日 広報編集委員会
- 17日 中小企業振興基本条例検討協議会
- 18日 議会概要報告会
- 22日 議会改革の視察受け入れ（兵庫県稲美町）
- 23日 会派代表者会議
- 25日 広報編集委員会
- 29日 総合交通体系調査特別委員会
- 31日 広報編集委員会

6月

- 3日 勉強会（補正予算等）
政務活動費説明会
- 4日 議会運営委員会
- 5日 議会改革推進協議会
- 7日 6月定例会開会
広報編集委員会
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 19日 予算委員会（全体会）
- 20日 総務・教育厚生・環境経済委員会・予算
委員会（分科会）
- 25日 議会運営委員会
予算委員会（全体会）
- 26日 議会改革推進協議会

9月定例議会の予定

- 9月 5日 本会議（開会）
- 10日 上下水道事業決算特別委員会
- 11日 本会議（一般質問）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
- 19日 予算委員会（全体会）
- 20日 常任委員会・予算委員会分科会
（総務・教育厚生・環境経済）
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 26日 一般・特別会計決算特別委員会（教厚）
- 27日 一般・特別会計決算特別委員会（環経）
- 10月 1日 予算委員会（全体会）
- 4日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記（表紙の説明）

今回の表紙は議会報告会の様子を
紹介しました。議員が4班に分
かれて市内15会場で報告しまし
た。

市議会議員が議員個人としてで
はなく、議会という公の立場で、
市民の皆さんと情報を共有すると
いう「議会報告会」を始めて、3
年目をむかえました。3年間の当
報告会への参加者を見ていま
す。第1回目が合計で422人
、昨年の2回目が405人、今年が
430人と確実に定着してきた感
があります。この間、自治会連合
会の方々のご協力に対しまして心
より感謝申し上げます。

議会としては、報告内容、手法
について、参加される方々にとっ
てより有意義であるようなもの
に、真に開かれた議会を目指した
い、と考えております。

議会広報編集委員会

◎田中健次 木村一彦

○藤村こずえ 平田豊民

安藤二郎 山根祐二

上田和夫

◎委員長、○副委員長

「ほうふ市議会だより」アンケートの集計結果

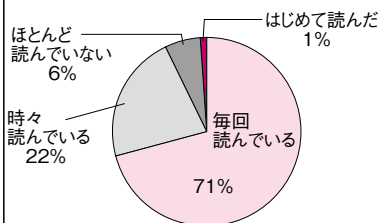
～ ご協力いただき、ありがとうございました！ ～

防府市議会では、市民の皆さまのご意見を参考に、より親しまれる内容にするため、ほうふ市議会だより（平成25年5月15日発行）でアンケートを実施し、73人の方からご回答をいただきました。このたび、アンケートの集計結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

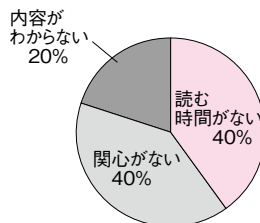
お寄せいただいた貴重なご意見を、市議会だよりの企画・編集や議会活動に活かしていきます。

- ◎期 間：平成25年5月15日から6月17日まで
- ◎件 数：73件（郵送47件、FAX19件、Eメール5件、持参2件）
- ◎年 齢：(20～29歳)4% (30～39歳)4% (40～49歳)15% (50～59歳)15% (60～69歳)28% (70～79歳)27% (80歳以上)7%

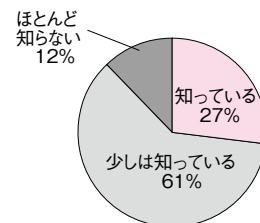
市議会だよりを読んでいますか



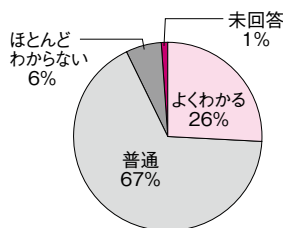
読んでいない理由は何ですか



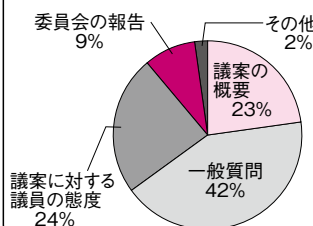
市議会で議論された内容をご存知ですか



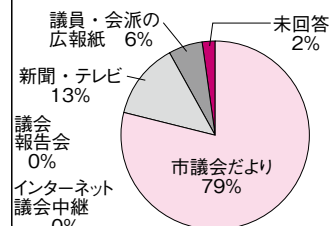
市議会だよりから市議会で議論された内容がどの程度理解できますか



関心のある記事は何ですか



市議会で議論された内容は何を通じて知りましたか



どんな記事があれば読んでみたいですか

主な意見

- 住んでいる場所（地区）に関する記事
- 市議会で決定したものが実際にどのように実現しているかのレポートなど
- 各議員の活動を順番に連載してほしいです。理解が深まると思います。
- 文字ばかりで引きつけるものがあまりない。一般質問に出ている名前の写真を載せたり、名前だけでは誰？という感じの所もある。（議員）
- 今回の焦点のような具体的な意見が読んでみたい。
- 型通りの報告だけでなく、読もうとする意欲を沸かせる構成も大切では？
- 議案に賛成・反対した理由を会派ごとに説明してもらいたい。
- 防府市活性化のため、市内のPR
- 高齢化にどう取り組むかなど、福祉関連の記事

ご意見・ご要望をご自由にお書きください

主な意見

- 「焦点」では初めて知ることが多く、どちらの意見も読めて良かった。
- イラストを使った解説は、子どもたちにもわかりやすく良かったです。
- クールビズで議員さんも「幸せます」Tシャツを着て議会されてみてはどうでしょうか？
- カラーでなくてもよいので、読みやすく、若者でも興味を引くように。
- 賛否が分かれた議案に対する議員の態度一覧表は、ぜひ必要である。
- 議会報告会、年に2、3回やってほしい。
- 人と自然の循環で未来に残したい財産の議論をしていただきたい。
- もっと議会を身近に。若者の興味を引くようにお願いします。